



2026年7月13日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
13,739万kW
15時30分、137,394 MW
(10エリア同時刻合計)

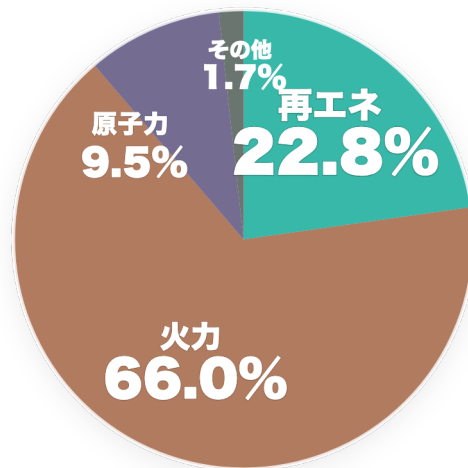
☀ 太陽光ピーク
3,424万kW
11時30分、34,235 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク
164万kW
1時、1,639 MW

◇ 再エネ最大需要比
35.4%
10時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
102 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
88.7 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 40.7%
36.0 GWh

出力抑制量

0.7 GWh
最大: 東北 0.7 GWh

揚水・蓄電の充電

31.2 GWh
発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:00に4,260万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで40.7%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	22.8%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	614 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,697 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	35.4%	10時30分
出力抑制量	0.7 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	31.2 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	40.7%	36.0	0.0	送電 8.2
東北	33.5%	104	0.7	送電 88.7
東京	10.4%	77.5	0.0	受電 102
中部	25.4%	92.0	0.0	受電 43.2
北陸	34.5%	29.2	0.0	送電 4.6
関西	17.0%	68.6	0.0	受電 67.9
中国	28.2%	61.0	0.0	送電 22.2
四国	27.5%	35.8	0.0	送電 44.8
九州	32.7%	106	0.0	送電 23.3
沖縄	11.8%	3.5	0.0	—



2026年7月13日の供給実績

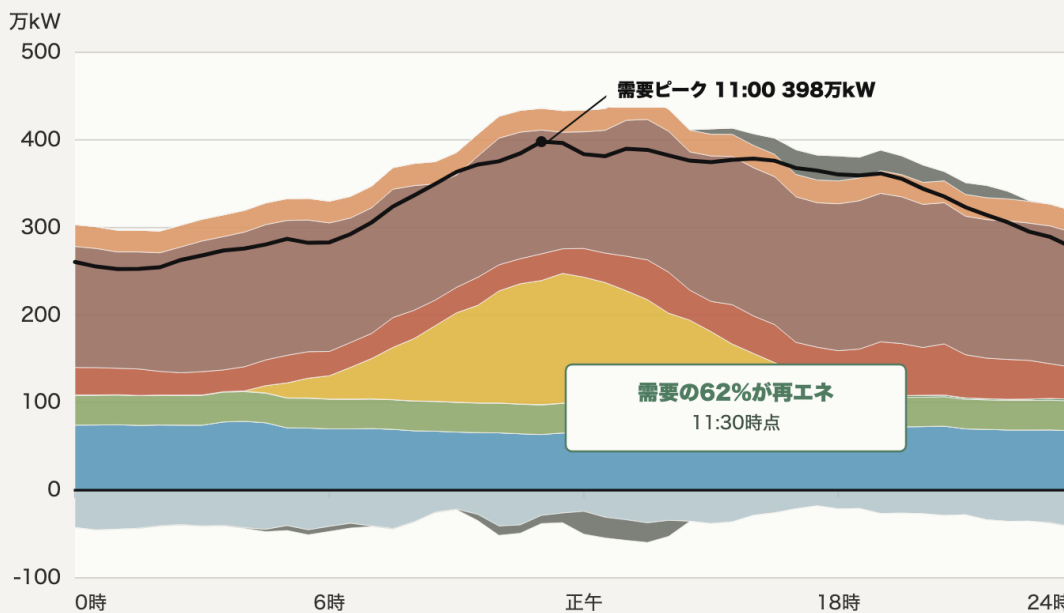
北海道エリア

再エネ

36.0GWh

(発電電力量ベース40.7%)

北海道エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 88GWh
(885万kWh)

再エネ	36.0GWh (40.7%)
太陽光	10.7GWh (12.1%)
水力	17.0GWh (19.2%)
風力	0.2GWh (0.3%)
バイオマス	8.1GWh (9.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.8GWh (9.9%)
石炭火力	36.4GWh (41.1%)
石油等火力	6.0GWh (6.8%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.3GWh (1.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

88.5GWh

需要ピーク

11:00、398万kW

連系線・その他

8.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク148万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.4%だった。



2026年7月13日の供給実績

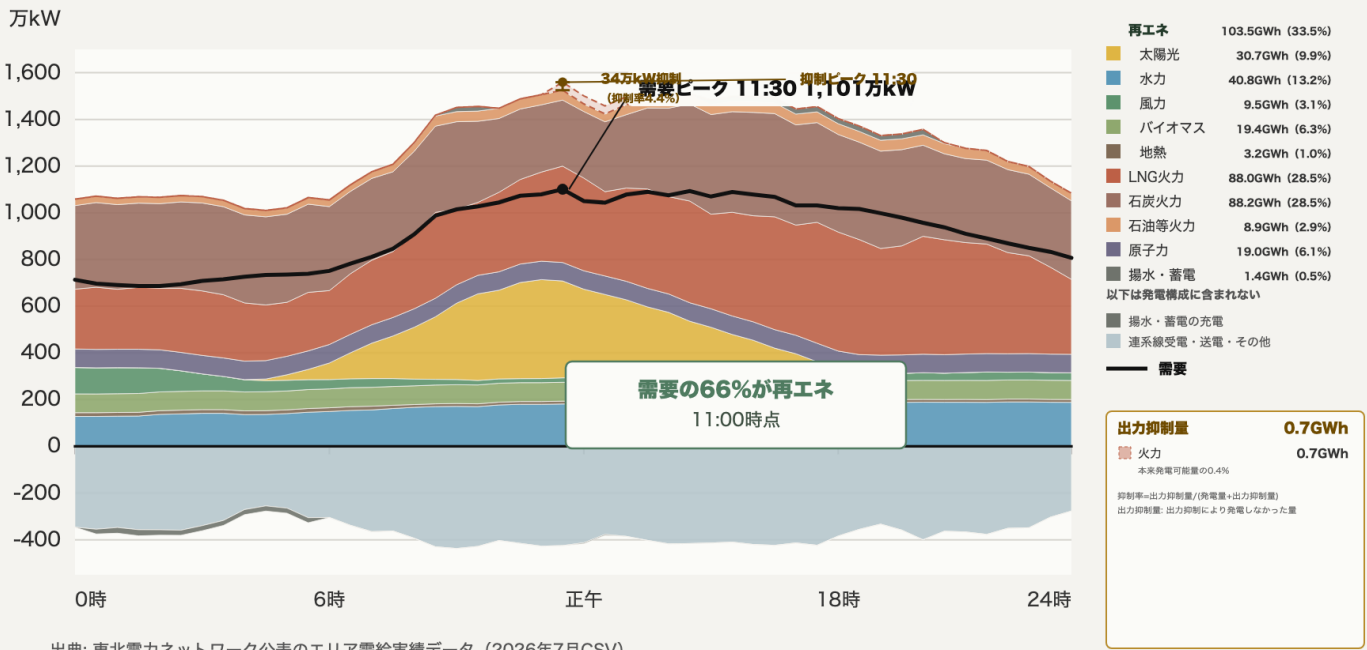
東北エリア

再エネ

103.5GWh

(発電電力量ベース33.5%)

東北エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
309.0GWh

需要ピーク
11:30、1,101万kW

連系線・その他
88.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.3GWh

出力抑制
0.7GWh

概況

東北は、太陽光ピーク424万kW、風力ピーク113万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.1%だった。



2026年7月13日の供給実績

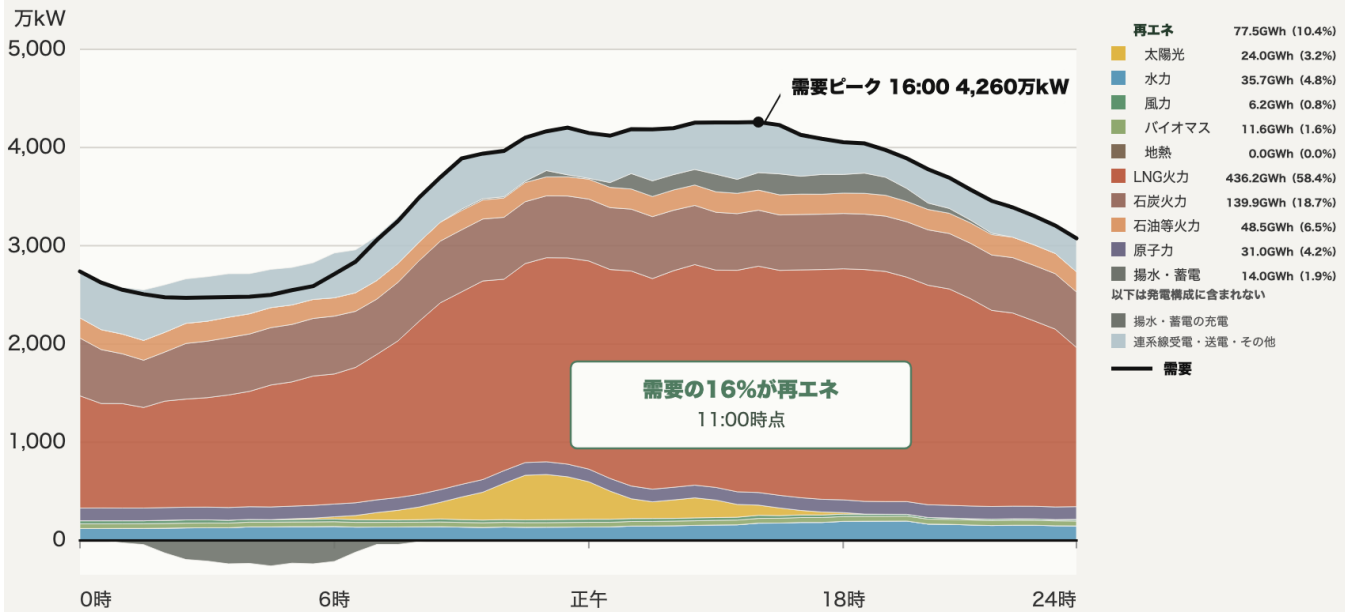
東京エリア

再エネ

77.5GWh

(発電電力量ベース10.4%)

東京エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

747.0GWh

需要ピーク

16:00、4,260kW

連系線・その他

101.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

11.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク460万kW、風力ピーク33万kWで、時間別の再エネ最大需要比は16.2%だった。



2026年7月13日の供給実績

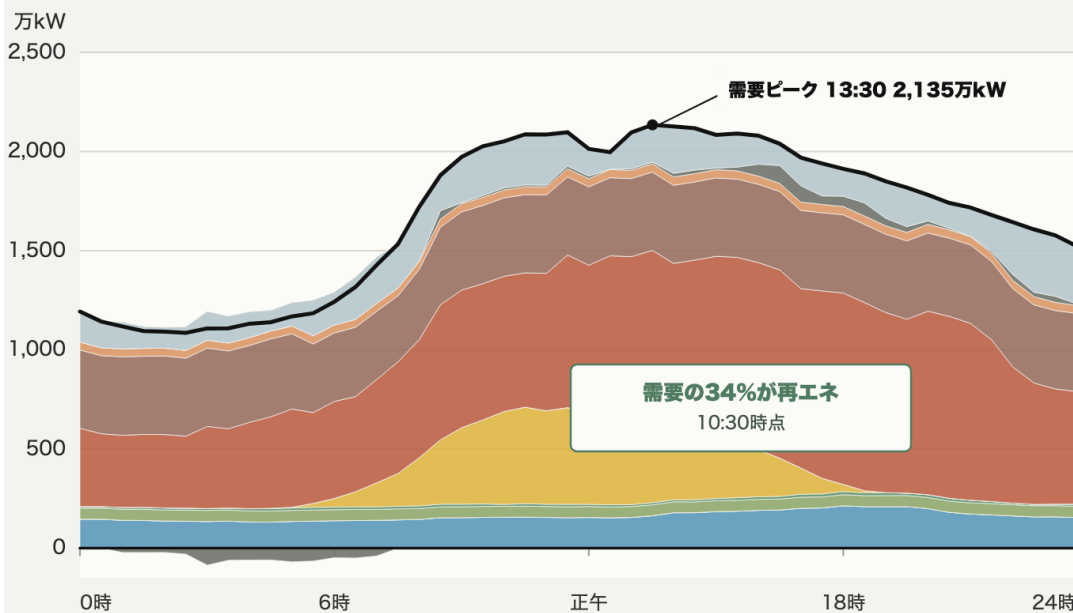
中部エリア

再エネ

92.0GWh

(発電電力量ベース25.4%)

中部エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 362GWh

(3,622万kW)

再エネ	92.0GWh (25.4%)
太陽光	37.1GWh (10.2%)
水力	38.8GWh (10.7%)
風力	2.8GWh (0.8%)
バイオマス	13.3GWh (3.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	163.4GWh (45.1%)
石炭火力	93.1GWh (25.7%)
石油等火力	9.8GWh (2.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	3.9GWh (1.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

362.2GWh

需要ピーク

13:30、2,135万kW

連系線・その他

43.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

3.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク488万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は34.1%だった。



2026年7月13日の供給実績

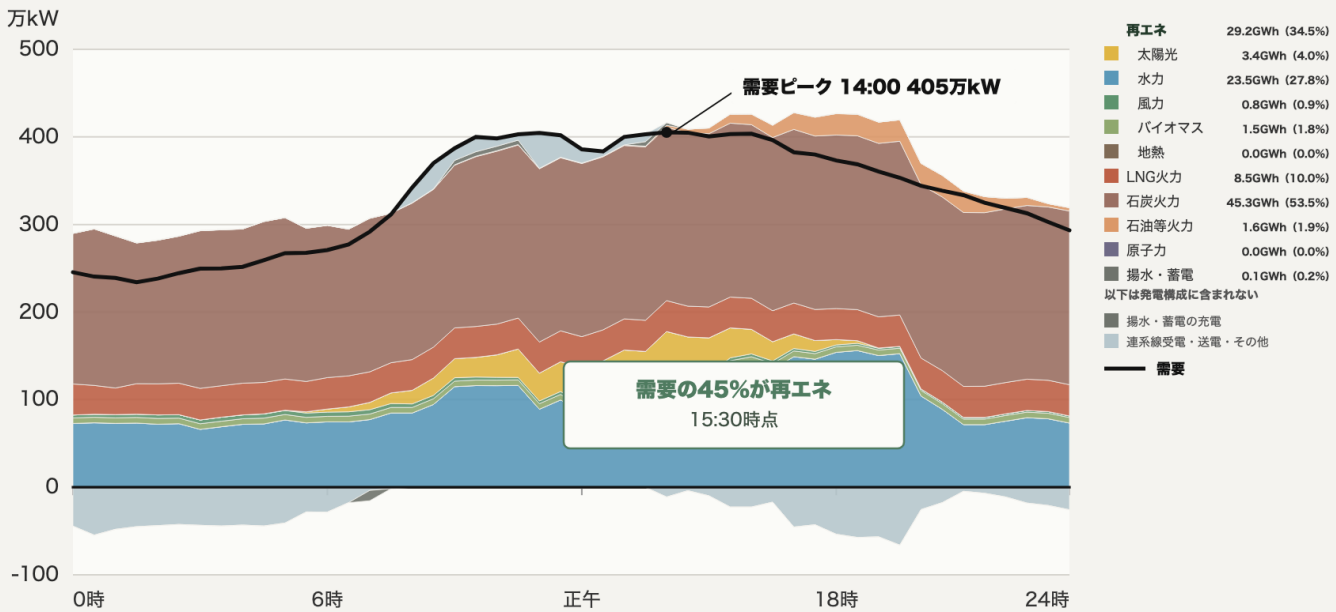
北陸エリア

再エネ

29.2GWh

(発電電力量ベース34.5%)

北陸エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

84.7GWh

需要ピーク

14:00、405万kW

連系線・その他

5.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク50万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.8%だった。



2026年7月13日の供給実績

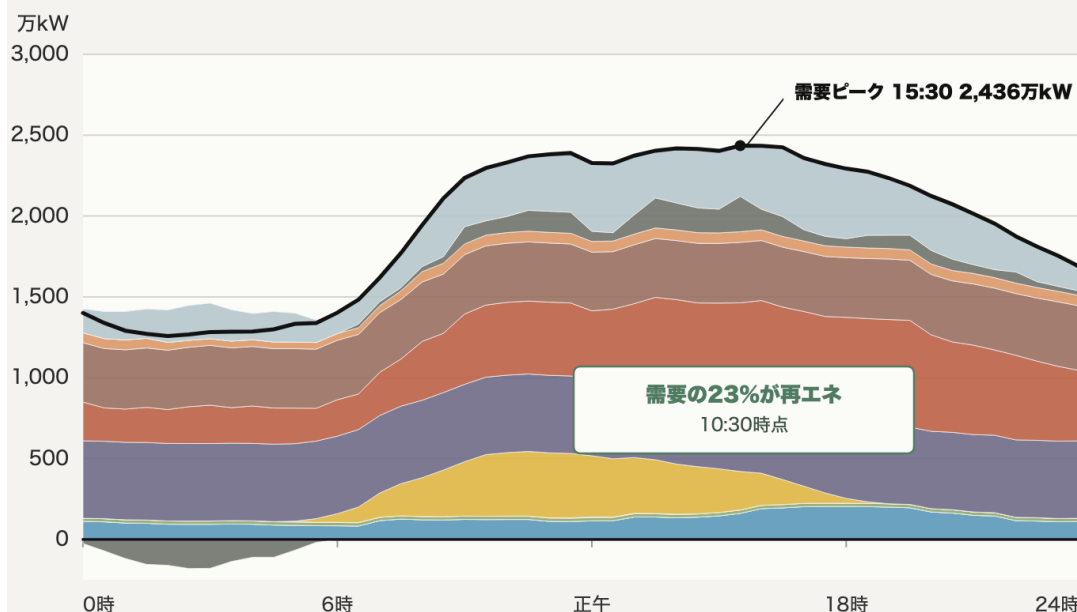
関西エリア

再エネ

68.7GWh

(発電電力量ベース17.0%)

関西エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 403GWh
(4,033万kWh)

再エネ	68.6GWh (17.0%)
太陽光	32.2GWh (8.0%)
水力	31.4GWh (7.8%)
風力	0.3GWh (0.1%)
バイオマス	4.8GWh (1.2%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	101.3GWh (25.1%)
石炭火力	88.9GWh (22.1%)
石油等火力	14.3GWh (3.5%)
原子力	115.0GWh (28.5%)
揚水・蓄電	15.2GWh (3.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

403.3GWh

需要ピーク

15:30、2,436万kW

連系線・その他

67.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

6.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク401万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.0%だった。



2026年7月13日の供給実績

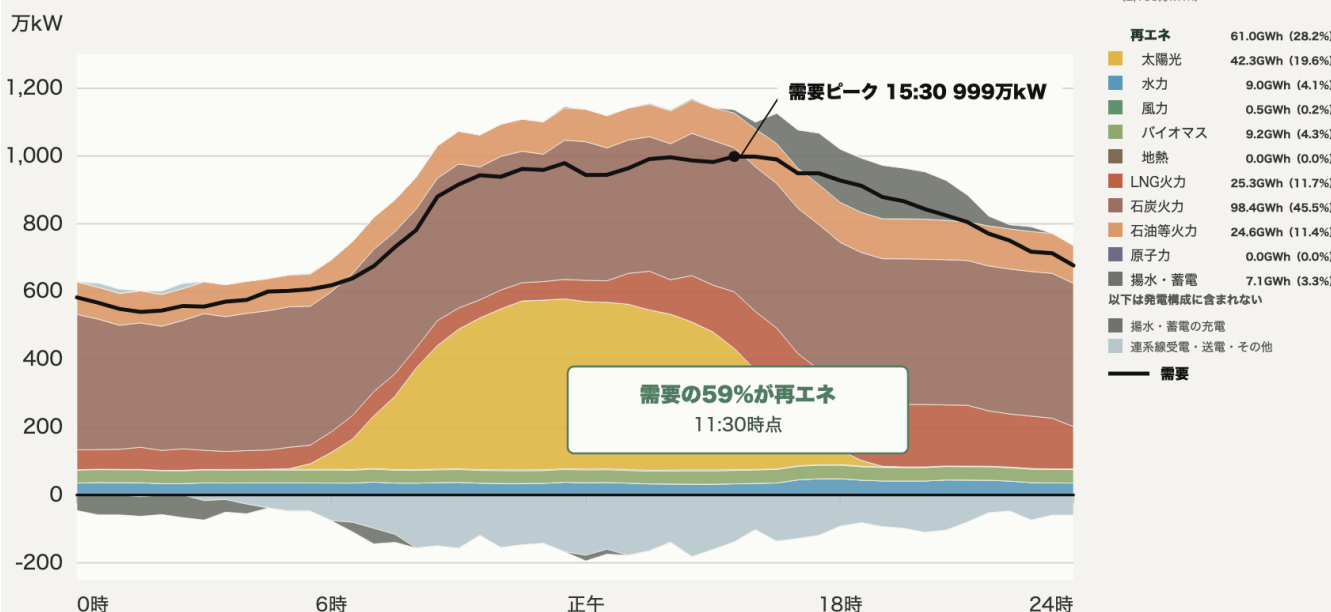
中国エリア

再エネ

61.0GWh

(発電電力量ベース28.2%)

中国エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

216.5GWh

需要ピーク

15:30、999万kW

連系線・その他

22.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

3.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク501万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.5%だった。



2026年7月13日の供給実績

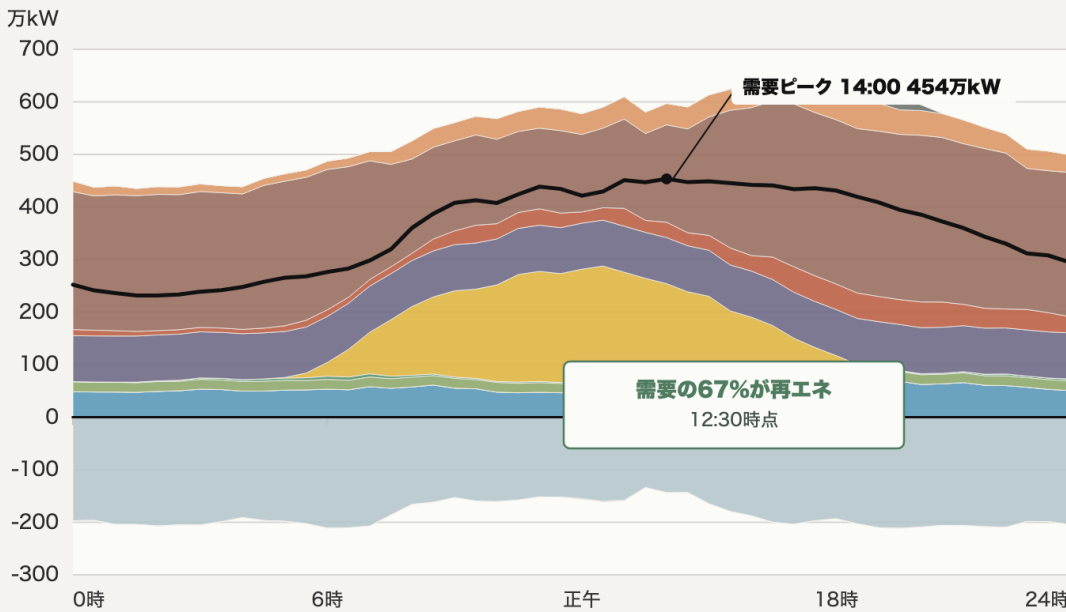
四国エリア

再エネ

35.8GWh

(発電電力量ベース27.5%)

四国エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 130GWh
(1,301万kWh)

再エネ	35.8GWh (27.5%)
太陽光	17.5GWh (13.4%)
水力	13.3GWh (10.2%)
風力	0.6GWh (0.5%)
バイオマス	4.4GWh (3.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	6.4GWh (4.9%)
石炭火力	58.6GWh (45.0%)
石油等火力	7.9GWh (6.1%)
原子力	21.0GWh (16.2%)
揚水・蓄電	0.4GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

130.1GWh

需要ピーク

14:00、454万kW

連系線・その他

44.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク221万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.0%だった。



2026年7月13日の供給実績

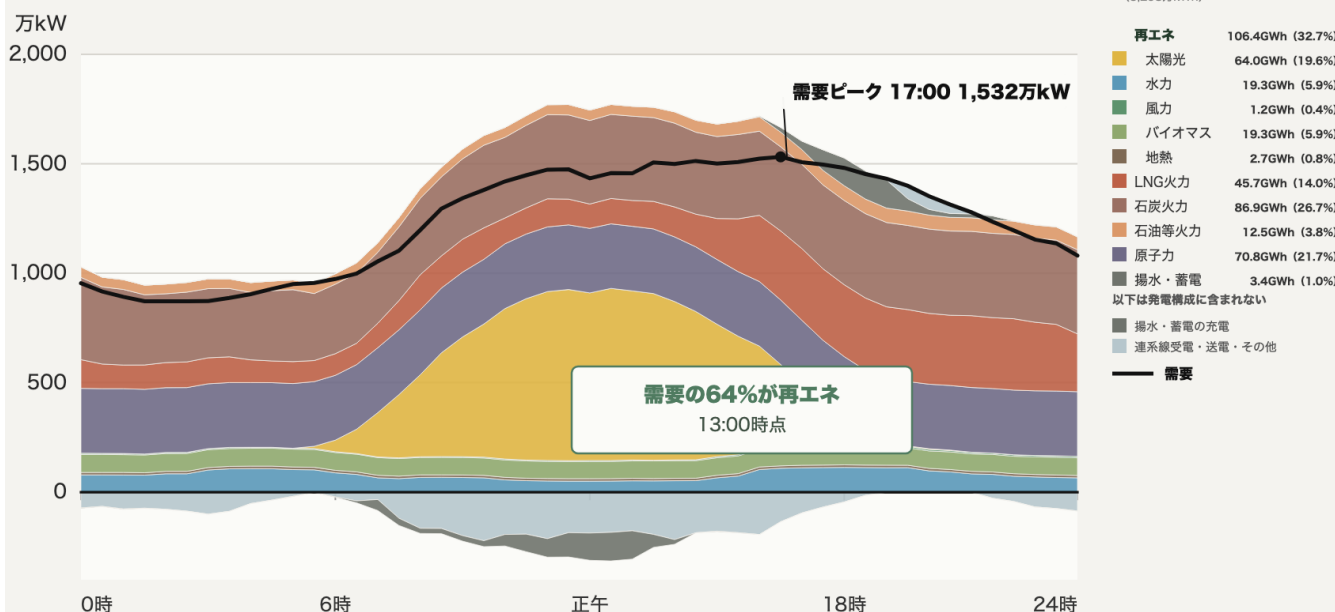
九州エリア

再エネ

106.4GWh

(発電電力量ベース32.7%)

九州エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

325.8GWh

需要ピーク

17:00、1,532万kW

連系線・その他

24.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク786万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.9%だった。



2026年7月13日の供給実績

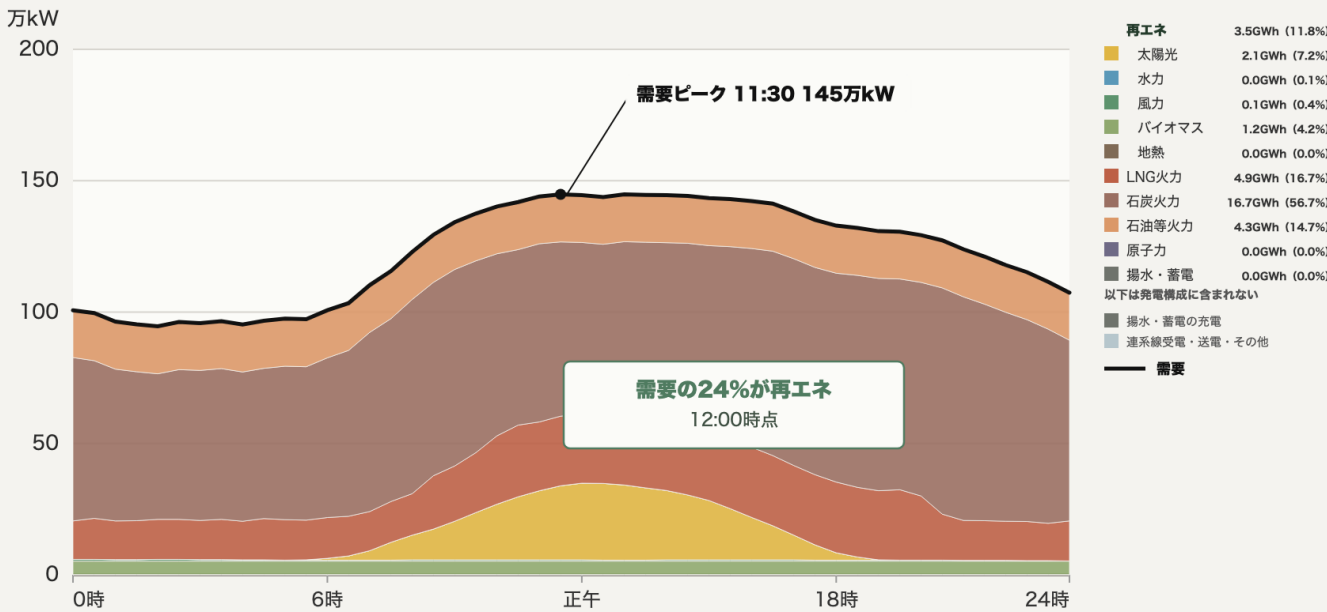
沖縄エリア

再エネ

3.5GWh

(発電電力量ベース11.8%)

沖縄エリア 2026年7月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.4GWh

需要ピーク

11:30、145万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.2%だった。